

小規模企業景気動向調査

[平成31年2月期調査]

～全業種が悪化し、全体でも2か月連続の悪化となった小規模企業景況～

2019年4月15日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2019年2月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全業種が悪化し、全体でも2か月連続の悪化となった小規模企業景況…◇

2月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、売上額DI、採算DI、資金繰りDIすべてにおいて小幅に悪化した。2月期は、日本海側を除き降雪が少なく、スキーやスノーボード等のレジャー産業が伸び悩んだ。一方で、景況感が悪いながらもオリンピック準備のため、一部の製造業や建設業で好況の兆しが出始めているが、人手不足により受注機会を逸しているとのコメントが寄せられた。

<製造業> ◇…人件費や資材価格の高騰により利益に結びつかない製造業…◇

製造業は資金繰りDIが若干悪化し、それ以外の3DIは小幅に悪化した。堅調な建築鉄骨需要に加え、溶接技能者の不足を補足するために高性能の建築部品の需要が高まった。一方で、受注の小ロット化により包材等のコストがかさんだり、人手不足による人件費の増加や全体的な資材価格の高騰により、受注はあっても利益につながらず採算が取れないとの声が寄せられた。

<建設業> ◇…民需・公需ともに需要は豊富だが、雪や人手不足等の外部要因に悩む建設業…◇

建設業は売上額DIのみわずかに改善したが、業況DIと採算DIは小幅に悪化、資金繰りDIはわずかに悪化した。建築では今年10月の消費税増税を前に駆け込み需要が発生しているとの声が寄せられた。土木では年度末を迎え公共工事が活況を帯びるが、一方で降雪が少ないことで除雪需要を見込んでいた企業の利益を圧迫するほか、人手不足で工賃の上昇や受注機会喪失の影響が大きくなってきたとの声がきかれた。

<小売業> ◇…季節要因で一部業種は好調も、全体的には停滞感が強い小売業…◇

小売業は、資金繰りDIこそわずかな悪化に留まったが、業況DI、売上額DI、採算DIはいずれも小幅に悪化した。服飾雑貨を取り扱う小売業では、通年で売り上げはあるものの、特に3月4月は卒業式、入学・入社シーズンが続くことから、売上が上がるとコメントが寄せられた。また、暖冬で客足がのび、婦人服小売業を中心に好調が見られた。一方で、暖冬は燃料小売業や冬物衣料を取り扱う店舗では悪影響を及ぼした。また、キャッシュレスへの問い合わせが増えるも、効果が未知数なので導入に躊躇する声もある。

<サービス業> ◇…暖冬で観光業に明るさが見えるも、全体的に需要が不足しているサービス業…◇

サービス業は売上額DIが大幅に悪化、それ以外は小幅な悪化であった。先月に引き続き2月期も比較的温暖であったことから、一部の観光業では売上が堅調に伸びているとの報告があった。一方で、そもそも飲食・理美容・洗濯等の業種で需要が少ない時期であるが、雪が少なくタイヤ交換需要が少なかったことから自動車修理業への客の入りが少ないとの声やプロ野球のキャンプが佳境に入ったが、宿泊需要に対応できずに機会損失が発生しているとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲ 10.6	▲ 13.9	▲ 3.3	▲ 5.9	▲ 10.7	▲ 4.8	3.9	5.6	1.7
採算	▲ 13.6	▲ 16.3	▲ 2.7	▲ 12.7	▲ 14.7	▲ 2.0	▲ 6.4	▲ 8.4	▲ 2.0
資金繰り	▲ 9.0	▲ 11.4	▲ 2.4	▲ 8.0	▲ 9.9	▲ 1.9	▲ 3.9	▲ 5.6	▲ 1.7
業況	▲ 12.6	▲ 16.5	▲ 3.9	▲ 13.0	▲ 17.2	▲ 4.2	1.0	▲ 1.7	▲ 2.7

業種	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲ 25.1	▲ 28.4	▲ 3.3	▲ 15.0	▲ 22.1	▲ 7.1
採算	▲ 20.9	▲ 24.5	▲ 3.6	▲ 14.3	▲ 17.4	▲ 3.1
資金繰り	▲ 16.6	▲ 18.4	▲ 1.8	▲ 7.8	▲ 11.7	▲ 3.9
業況	▲ 23.8	▲ 28.1	▲ 4.3	▲ 14.5	▲ 19.2	▲ 4.7

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

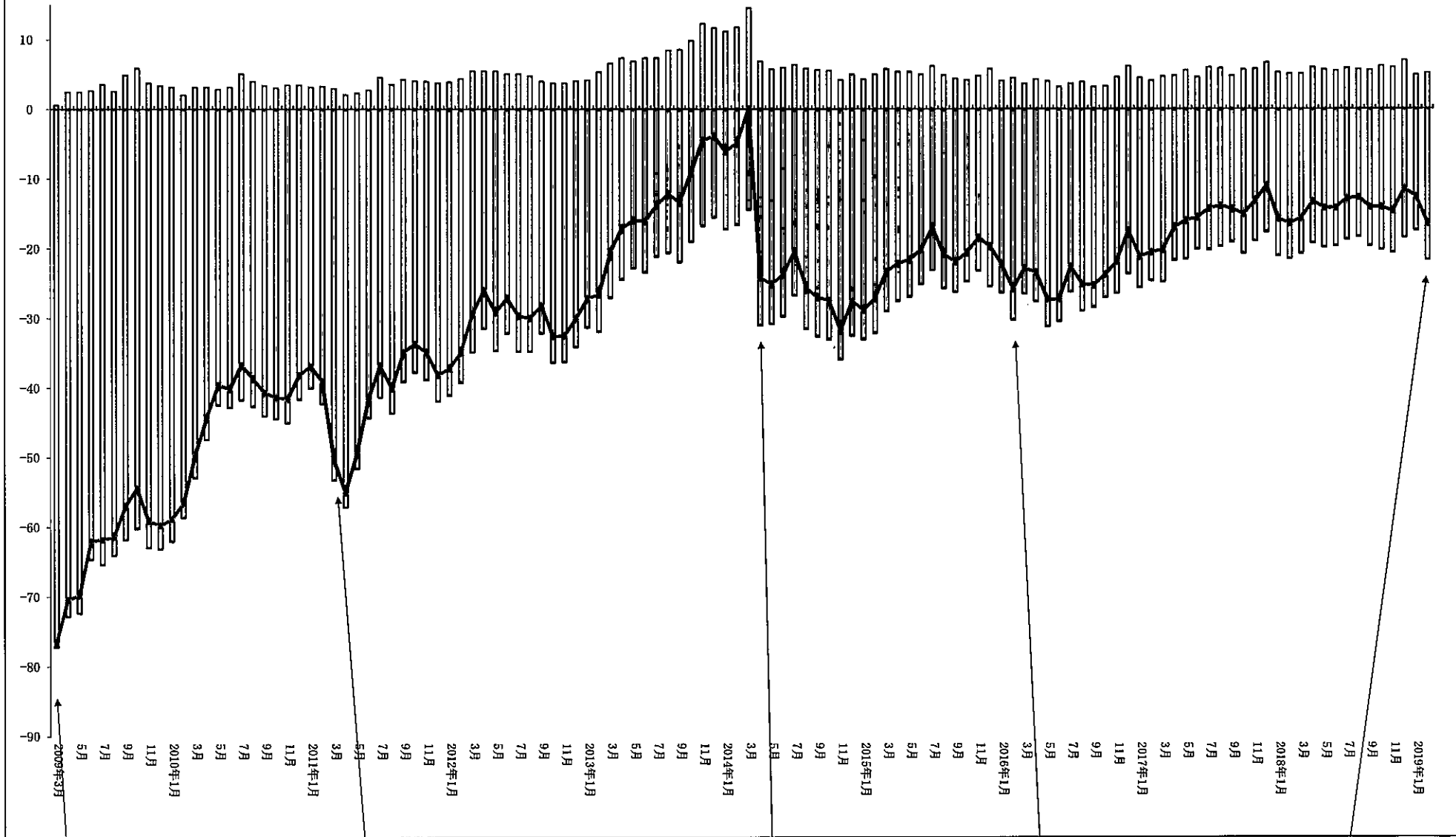
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
□ 好転
◆ DI



09年3月
過去10年間最低数値
(-76.7)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

19年2月
-16.5

小規模企業景気動向調査(2月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・多々、研修会をおこなってきたが、この時期になってようやく消費税増税を意識してきた企業が増えた。
(山形県高島町商工会)
- ・地域経済は緩やかに回復。生産面は全体としては堅調に推移。
需要面は個人消費が底堅く推移。設備投資も回復傾向を維持。
(山梨県甲州市商工会)
- ・野球、サッカーのキャンプシーズンに入り、全体的に状況が良くなっている。特に宿泊業、飲食業の業況が好調である。
(宮崎県佐土原町商工会)
- ・地域全体において災害の影響により7月から数か月売上減少が続いたが年度末になりほぼ影響はなくなったと感じられるようになった。
(広島県宮島町商工会)
- ・基幹産業が観光サービス業と内航海運業であるが、冬場は観光客の減少が懸念されるが、行政や観光協会を主体として、トレッキングなどのイベントが毎週開催され、交流人口の増加を目指している。
金融機関の貸出対応は良好である。海運業の新船造船も4件ほどあった。
(熊本県上天草市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・積雪量が少なく、スキー客の入込が激減しており、スキー場に関連する企業の収益が減少している。金融機関の貸出については、何ら問題はない。
(岐阜県高山西商工会)
- ・オリンピックの影響もあり製造業や一部建設業の状況は良いが、人手不足により受注を受けられないところもある
(静岡県函南町商工会)
- ・地域独特の農繁期以後の消費が伸び悩み消費の冷え込みが激しい状況にある。要因の一部としては、地域特産品であるおけさ柿の出荷量が、干ばつや台風接近など厳しい気象条件が重なり、1990年以降で最小の結果となったと新聞報道されたことが裏付となっている。
(新潟県羽茂商工会)
- ・全体的に人手不足感が強まっている。外国人労働者が地方に配分されるかが心配。また働き方改革による労働時間の短縮など課題は山積している。
(鹿児島県志布志市商工会)
- ・人手不足が慢性化し、材料費も高止まりし、ほぼ全業種への収益に影響が出ている。製造業は、一部の企業で米中の貿易摩擦による影響を受けている事業所もあり、先行きに不安を持っている。消費動向の動きも鈍い。
(香川県さぬき市商工会)

季節の変わり目が例年より早く(冬⇒春)全体的に暖冬となった。

除雪にかかわる仕事の減少、暖房燃料の販売不振、冬物関連の小売業が全体的に不振。

(山形県もがみ南部商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・食料品関連の製造業は、受注量自体にはあまり変化はないが、社内の生産効率がやや低下しているため改善策を検討中で、来月から成果を出したい。
繊維工業関連の製造号は、OEM受注は低下傾向にあるが、自社ブランド品が増加しトータルでは大きな変化はない。3月の異動時期に合わせた贈答需要を見込んでいる。
機械・金属関連の製造業は、学校改修工事関係の加工の受注が続いていることに加え、関西のホテル改修工事に係る新規受注があり、建設業界の好況の影響を受けている。
(岡山県作州津山商工会)
- ・建設用金属製品製造業では、ゼネコンや鉄骨業者からの受注が堅調に推移しており、工場は高い稼働率で推移している。現在、更なる生産性向上に向けて新たな設備投資の準備を行っている。
(岡山県岡山北商工会)
- ・食品については天候などの影響もあるが、今月は仕入は全体的に下がっており何とか採算はとれているとのこと。繊維については、海外への輸出が多いため、国際関係などにより中東への輸出が減少しているとのこと。製造業者も減少しており、その仕事の一部企業へ集中しているようである。
機械・金属は、昨年たまたま仕事が多かったため、今年は減少しているが、ならせば平年並みとのこと。特殊な仕事のため受注はあるとのこと。
(静岡県浜北商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・雑貨系の小売業は入学・卒業シーズンに向けて特にファミリー層からの問い合わせや販売が増えており、3月に向けてさらに伸びると思われる。

(宮崎県佐土原町商工会)

・小売業に関しては増税前の駆け込み事業により若干好転している事業者もあり、仕入単価の高騰も落ち着いてきている。

(大分県玖珠町商工会)

・衣料品関連の小売業は、暖冬であったこともあり婦人服関連が好調であった。

(山形県寒河江市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・ガソリンスタンドは雪が少ないため除雪の稼働日数が少ない為燃料の売上が少ない。灯油の売上也雪が少なく売上減である。

(福島県会津美里町商工会)

・食料品を中心に売上減少傾向である。原因としては人口減少・高齢化により消費額が落ち込んでいることが考えられる。既存の販売方法や商品から脱却できていない店舗が多い。

(大分県九重町商工会)

・キャッシュレス事業についての相談が多くなっており導入による手数料の維持費や導入したことによる効果がどの程度あるのか不安もあるとのこと。

(宮城県栗原南部商工会)

・衣料品関連の小売業は、暖冬が原因のため、冬物商品の売れ行きが悪く在庫として残っている状況になっている。

(岐阜県高山西商工会)

・各種食料品の値上げがスタートし、影響が心配。消費増税に向けた対応(レジやインボイス)に苦慮。

(山形県尾花沢市商工会)

・小売では、食材仕入値自体の上昇、運送費用の上昇、人手不足などを受けて、食品全体が高値で推移している模様。

(静岡県富士市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・理容関連のサービス業は、キャッシュレス決済端末の導入により、新規顧客が増えている。

(神奈川県伊勢原市商工会)

・暖冬で比較的に天候にも恵まれ、一部の施設では人手が多いという声も聞かれた。

(愛知県豊浜商工会)

・観光関連のサービス業は外国人観光客が当地域も増加傾向にあり、少し上向き状況である。

(滋賀県大津北商工会)

・観光に関わる事業者を中心に、売上が堅調に伸びている。季節的に観光客が比較的少ない時期ではあるが、例年に比べ明らかに増えていることが要因である。

(鹿児島県あまみ商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・自動車関連サービス業に限って言えば、今冬は雪が少なく、事故や故障の修理等が少なかった事は影響が大きいとのこと。

(岐阜県古川町商工会)

・洗濯業においては高齢化等の影響により昨年同期と比較してやや悪化傾向にある。

宿泊関連のサービス業はシーズンオフの影響により昨年同期と比較してやや悪化傾向にある。

理美容業においては人口減少等の影響により昨年同期と比較してやや悪化傾向にある。

(高知県東洋町商工会)

・キャンプシーズン到来により、宿泊業や観光客メインの飲食店、土産品店は若干好調な様子であるが、市内には大型宿泊施設がないため大半は他市町村へ流れていると考えられる。

(沖縄県うるま市商工会)